

事業名 科学博物館講演会「命はみんなつながっている」

趣 旨 世界の生物の生活の様子から「命のつながり」を実感し、自然環境や生態系を考える。

実施主体 長岡市立科学博物館

参加対象 市民

参加者数 97人

回数 1回 日数 1日 時間 2時間

場 所 長岡市中央公民館大ホール

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月2日（日） 午後2時から 4時	科学博物館講演会「命はみんなつながっている」	千石正一（財団法人日本 自然環境研究センター研 究主幹）
	内容・ 方法	クマノミとイソギンチャク、オオコウモリとドリアン、ライオンなど、よく知られた生物の例を挙げ、意外な生き物同士の関係を紹介し、これらの関係を断つことが絶滅につながる例も紹介した。 また、マングローブなど海岸の林を伐採することで、自然の堤防が消失したために津波の被害が拡大した例は、環境や生物のバランスを破壊することがいつか我が身に返ってくることを考えさせられた。 自分たちの生活が、どれほど多くの生物に関わり、影響を与えているのか、また、何気ない行動が自然環境・生物に思いがけない影響を与えることを知り、日常生活について改めて考え、見直すきっかけとすることができた。	

成 果 ・ 生き物のつながりや関係についての話から、自分たちの日常につながる話をとおして、人間の生活が生物や環境に与える影響を知り、日常生活を改めて見直すきっかけとなった。

課 題 ・ この講演をきっかけとして、身近な自然について考え、地球上の生物・環境について考える機会をさらに提供していく。
・ 講演会のPRを行い、より多くの参加者が得られるようにする。

問合せ先 長岡市立科学博物館 学芸係（0258-32-0546）